

Kamu Kamu News

カムカム・ニュース

2019.07 vol.77

(医) ゆめはんな会

ヨリタクラブフロア 内覧会を開催しました！



先日の7月3日～7日の5日間に渡る、2階予防専門フロア『ヨリタクラブフロア』の内覧会にお越し頂きました皆々様、誠にありがとうございました！

なんと約300名様の来院と、100名を超えるご予約を頂くことが出来ました。お陰でこの数日、内覧会に来て下さった方々が初診を受けにご来院下さっており、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

内覧会も無事終え、ヨリタクラブフロアも本格的に運用開始！
もっとより良いクラブフロアにする為、これからもスタッフ一同頑張っまいります。

今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます！



咬み合わせの異常



★ 咬み合わせの異常とは、上下の歯の位置関係が正常でなくなったことを指します。

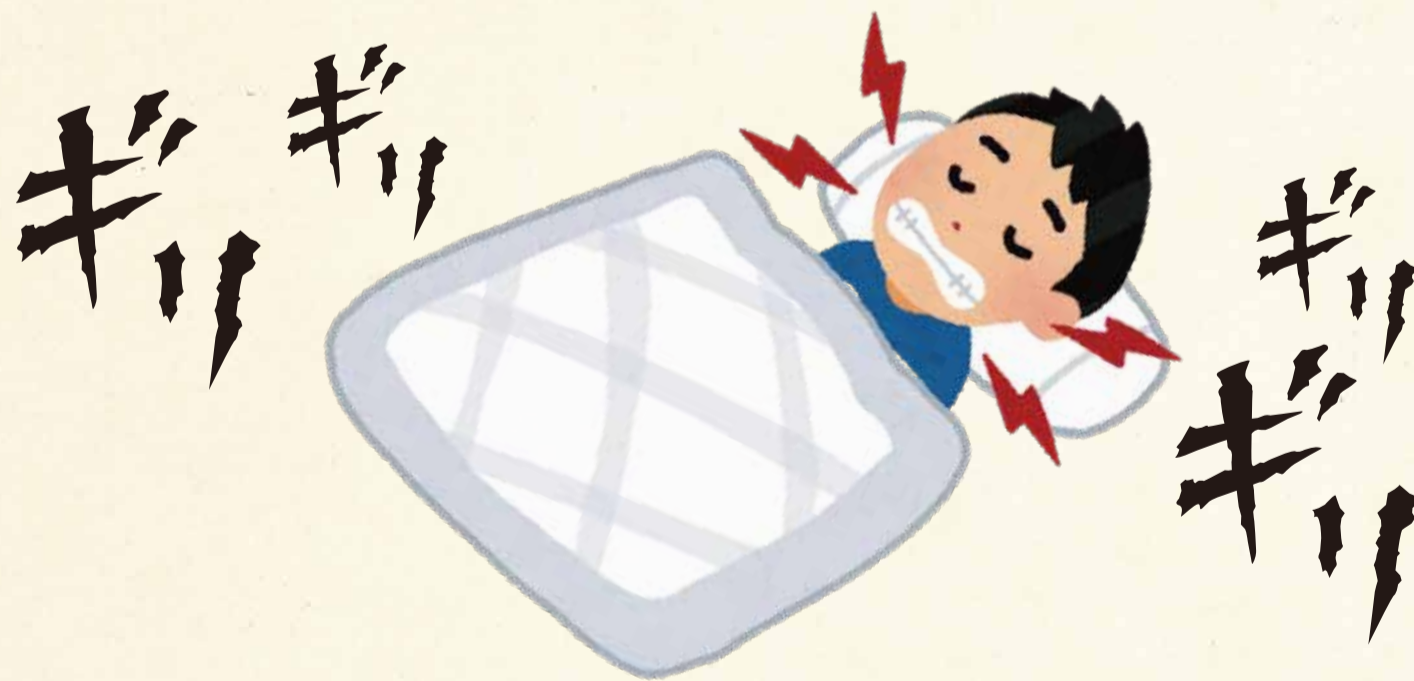
★ 歯列不正や顎関節症、歯ぎしりなど、咬み合わせの異常につながる原因はいくつかあります。

★ その中でも歯ぎしりは、自覚症状がないことも多いのですが実は非常に多くの方に歯ぎしりが原因とみられる歯痛や歯の摩耗（擦り減り）が起こっているため皆さんも当てはまることがないか、この機会にチェックしてみてください。

実は、上下の歯と歯を左右に擦り合わせて、ギリギリと音が鳴ることだけが歯ぎしりではなく擦り合わせていても音が鳴らない場合でも、十分歯ぎしりと言えますし一ヶ所で強く咬みしめることも、歯ぎしりに含まれます。

このような歯ぎしりは、ほとんどの方が行なっていますが問題はその程度（強さ、頻度、持続時間）です。

特に夜間の歯ぎしりは、無意識に非常に大きな力で行う場合があり、歯や筋肉、顎関節に障害や咬み合わせの異常が生じます。



★ また、昼間に弱い力で無意識に咬みしめをしていることもあります。通常は上下の歯の間には、前歯で二ミリ程度の間隔があります。すなわち上下の歯は、通常は接触していません。

今、あなたの上下の歯が接触しているようであれば
★ 強弱の差はあれ、それは咬みしめを行なっているということです。
咬み合わせがおかしいという方で、よく上下の歯を接触させて
自分自身で咬み合わせを確認している場合がありますが
これも良くない習慣です。

★ 強い歯ぎしりは、歯の亀裂を生じます。
これは、歯が欠ける原因や、むし歯の原因にもなります。★

歯の根に亀裂が生じると、歯を抜かなければならなくなります。

特に、歯の神経をとって被せ物になっている歯は、歯ぎしりによって
歯の根に亀裂が入るリスクが高まります。★

このほか、歯ぎしりと呼べないような弱い力であっても
上下の歯を持続的に接触させたり、長時間行なったりすると
歯の周りの組織にストレスが加わり、歯周病になりやすくなります。

あるいは、筋肉が疲労して、顎の痛みや、頭痛にもつながります。

夜間就寝時に行なう歯ぎしりは、自分では止められないので
歯やその周りの組織を守るために、ナイトガードやスプリントと
呼ばれる装置を口腔内に装着します。

起きているときに行なう咬みしめは、自分自身で
制御できるので、気がついたら止めるように
心がけましょう。

歯ぎしりを強い力で行なったり、
くせとなって頻繁にしてしまうと
様々な悪影響が出てきます。

その結果の一つとして
「咬み合わせの異常」が起こります。

★ ご自身に歯ぎしりの可能性がある
ようならば、歯科医院でご相談
なさって下さいね。

咬み合わせで
気になることが
ありましたら
ご相談下さいね！

WAKU
WAKU
FUN!!!

 ワクワク楽しい
ヨリタ歯科クリニック

おいハでニっこり ムシバセロ

 0120-4182-60

TEL 072-966-1128
HP www.yorita.jp

